

♡甘い香りに誘われて♡

2月はバレンタインの季節♡インフルエンザの影響もあり、外出も厳しいなかどうにか楽しんでもらおうと、バレンタインパーティーを企画しました！
そこで、初めてとなるチョコレートフォンデュ(あのタワーになってるものです!!)をメインに、食堂ホールで行いました。

利用者はもちろん、職員もみんなで、手や口周りがチョコレートだらけになりながらも、美味しく楽しい時間を過ごすことができました!!

またC棟では、好きな人にチョコを届ける機会をもってもらおうと、メッセージカードと包装の手伝いをしました。それぞれ思い思い(だいたい職員でしたが・・・)の人に、恥ずかしそうにしながらもプレゼントされていました♡



誕生会はホテルでランチ(*^_^*)



2月27日の水曜日、毎月恒例の誕生会(生まれ月の利用者対象)に出掛けてきました。インフルエンザ警報の真ただ中という事もあり、感染しないように人混みを避け、行事は楽しんでもらおうと、少し豪華な昼食を楽しんで頂く企画にしました!

そこで瀬長島に最近オープンした「琉球温泉瀬長島ホテル」のランチバイキングに出掛けてきました。バイキングのメニューはもちろん、出来たばかりのおしゃれなロビーや内装に、普段では味わえない豪華な雰囲気堪能♡食後は飛行機や景色を眺め、楽しい1日になりました!!



ダブル花見で、春を満喫！



3月に入り、暖かな気候とともに花を見ながら春の訪れを感じて頂こうと、2日間（ともに水曜日）に分けて東村まで花見に出掛けてきました。

それぞれ6日はつつじ祭り、13日はバラ園（かぐや姫という庭園）の鑑賞に行きました！

両日とも5月かと思うほどの陽気に恵まれ、つつじは8分咲き、バラ園もハイビスカスや野牡丹、コスモスなど様々な種類の花に囲まれた所で、どちらも花の色と香りを直に楽しむことが出来る外出となりました！！



みなさん、こんにちは。

ナース通信



仁愛に入社して10年目になる松田夏貴と申します。

これまで介護士として働いていましたが、今年1月より看護師として働き始めました。介護士なのになぜ看護師？と思う方もいらっしゃると思いますので、これまでの経緯を話したいと思います。

今から4年前のことでした。施設長に呼び止められ「看護学校に行く気はないか？」と聞かれました。初めは冗談かと思っていましたが、施設長の顔が真剣だったので、内心（どうしよう・・・）と思いながらその場を立ち去りました。家に帰った後、心を落ち着かせながら今まで働いてきたことを振り返ることにしました。

1つ目は利用者の介助をしている際、日常生活のケアはできても、医療的なケアができないことに歯痒さを感じたこと。2つ目は北海道へ1ヶ月間研修に行った時のこと、もともと介護で働いていた職員が看護学校へ行き、看護師としていきいきと仕事をしていることが挙げられ、私の気持ちは「看護学校に行く！」という思いで熱くなりました。

学校へ入学したのはいいのですが、毎日、課題に追われ、気がめいったこともありました。そんな時に仁愛の利用者や職員から励ましの言葉をもらい、心の底から嬉しくなり、どんなことがあっても頑張る看護師になろうと決意しました。そのようなこともあり、無事卒業でき、現在は看護師として働いています。まだまだ未熟者の私ですが、これからも向上心を持ち続け、利用者、職員と楽しく仕事をしていきたいと思っています。

訓練室リニューアル

昨年11月より着工されていた訓練室が中庭に完成しました。すでに2月中旬には、引越しを終え、実際に利用者の訓練を行っています。本館より離れたことで、利便性の低下は否めませんが、ある利用者は、訓練室に行くときに『いってきます』『ただいま』と生活支援員に声をかけるそうです。施設入所支援においては、このような感覚はなかなか感じにくいものです。利用者の日常生活にとってアクセントになっていることは嬉しいかぎりです。

今後、利用者、家族のみなさん、また職員のみなさんにとって、有益な場所となるようにしたいと考えています。いつでも、気軽に遊びにいらしてください。



にんじん収穫!!

冬に植えた『にんじん』が大きくなり、利用者のみなさんに、にんじんの葉と紐を結び、それぞれの方法でにんじんを収穫してもらいました。『はじめてやった!!抜くのが気持ちよすぎて、何本もぬいたよ』と収穫を喜んでいました。



スタッフ紹介



2月中旬から通所(デイサービス)から訓練へ異動になりました、宮城一夫です。わからない事も多く、伊禮サビ管、島仲理学療法士より指導を受けながら訓練スタッフの一員として、一日でも早く力になれるようになりたいと考えています。多くの利用者が訓練棟へ喜んでいらして頂けるよう頑張っていきますので、宜しくお願いします。

食生活通信

調理員のいろいろな思いを届ける食事作りをします。

利用者の皆さんとふれあい、利用者の立場で食事サービスを充実したいな・・・(調理師)

新たな年度に向け、給食担当者(調理員・栄養士)でどんなことを取り組みたいか話し合ったところこんな声があがりました。

★噛むこと・飲み込むことが困難になった方に見た目も美味しそうな食事作りに取り組みたいドロドロのミキサー食を、H22 年度から固形化(ミキサーにかけてから、トロミ剤で固めて形をつくる)に取り組み、調理技術アップし、見た目(色彩・形)も美味しく提供できるようにほぼなりました。

“食事中のせき込み、むせが少なくなった、見た目もよくなった”(介護者の声)

普通食



ミキサー食



★いろいろなお楽しみ食事会や市販の料理もいただく機会も提供したい。料理づくり以外に特技のある調理師がそろっています。“ギター”“三味線”“歌”“絵描く”“裁縫”等 食事をいただきながら、いろいろな形で、調理師が利用者の皆さんとふれあう機会をつくり利用者の立場で食事作りをしたいと意気込んでいますのでお楽しみに・・・(栄養士)

デイサービス

前号に続き通所メンバー紹介

『3度目の正直になれば良いな!』

昔、「人生50年…」と織田信長が本能寺でも歌い踊った。今や、80年90年…。少しだけまじめな話し…。

自分の人生が3回に分けられるとすると、2度目の後半と3度目で仁愛にお世話になっている。1度目は夢を追い続けた35歳までの健常者の自分。2度目は、36歳～49歳まで。3度目は、障害が更に重度になった50歳～現在。2度目は健常者から障害者になり、完全に受容できないまま、3度目を迎え、今思うと2度目でも、当時の周囲の人達には迷惑かけた。申し訳なかったと思う。(失くしたものを数えるな!)と、当時よく言われ、『自分に出来ること』を見つけ、頑張ろうと思った。障害者になった2度目の前半で、自分より重度障害者の人達の行動を見て、勇気付けられる。[自分の障害はまだ軽いほうだ!]・まじめに生きようと思い、概ね乗り越えられたと思う。3度目の今は、退院してから2年ほど! 今や身体機能も低下して自分自身が迷っている状態。今の自分に何が出来るかわからなくなった。だけど、自分には確信がある。仁愛の職員・利用者も含め、自分の周りには良い人達が多い。苦しいこともあり、期間的にはわからないが、絶対に乗り越えられると思っている! 常に前向きでありたいと思っているし、願っている。仁愛の職員や、福祉に精通し、素晴らしい人達がどれだけ多いことか? まとまれば、もっと素晴らしいと思っている。自分達に不自由さを感じさせず、夢を与えてくれている! 福祉の面では、後進国(?)に当たると思っている日本の障害者だから、生きていけるのかもしれないが、自分たちが夢や希望を持ってこそ、住みやすい所になると思う。

平成二十五年 三月 山城 靖

物品寄贈

- ☆ニューマート・モリ (ジャガイモ・玉ねぎ)
- ☆宇良英子さん家族 (お米)
- ☆沖縄介護福祉養成校連絡会 (タオル)

